

# Ⅲ 社内外の 評価及びご意見

- 九州電力環境顧問会 ..... 51
- レポートの読者アンケート ..... 52
- 社員の環境意識 ..... 53
- お母さま方の環境意識 ..... 53
- 社外評価 ..... 54



長崎県 九十九島

西海国立公園に含まれ、佐世保港の外側から平戸まで25kmにわたり島々が点在しています。「九十九」とは、たくさんの数の例えで、実際の島の数は208あり、島の密度は日本一といわれています。

## 九州電力環境顧問会

2010年5月20日に「第10回 九州電力環境顧問会」を開催し、九州電力グループの環境への取組みや「2010九州電力環境アクションレポート」について、様々なご意見をいただきました。

環境顧問会での主なご意見とその反映状況についてご紹介します。

### 九州電力環境顧問会委員 (50音順 敬称略)



あかぎ えい  
赤木 衛  
著述業



あかとう えいじ  
赤塔 栄治  
読売新聞 西部本社  
編集局経済部長



あさの なおひと  
浅野 直人  
福岡大学 法学部教授  
中央環境審議会委員



いしくぼ なほみ  
石窪 奈穂美  
消費生活アドバイザー



おおつか まさお  
大塚 政雄  
環境省 環境カウンセラー  
(市民部門)



つつい やすひこ  
筒井 泰彦  
エッセイスト



つるた かつとし  
鶴田 暁  
九州地域環境・リサイクル産業  
交流プラザ 副会長



なかむら ひでたか  
中村 英隆  
おんが  
遠賀信用金庫  
理事長



にしだ しんいち  
西田 進一  
西田鉄工株式会社  
代表取締役社長



ふじもと のぼる  
藤本 登  
長崎大学教育学部  
准教授



会議風景

## 1 環境への取組みについて

ご意見の概要	ご意見の反映状況
<b>木質バイオマス混焼実証試験</b> ● 峇北発電所での木質バイオマス混焼実証試験は、循環型社会形成や生物多様性に寄与するほか、森林管理を促し地域活性化にも貢献することから、今後の成果に期待している。	● 木質バイオマスの混焼は、当社では峇北発電所での実施が初めてであるため、今後、木質チップの調達状況や、ボイラーでの混焼状況等を十分に検証していきます。
<b>運輸面でのCO<sub>2</sub>削減</b> ● 一般車両の燃費が目標未達となっているが、社内研修等によりエコドライブを徹底させるなど、更なる工夫の余地があるのではないかと。	● 研修や社内イントラネットを活用したエコドライブの徹底・周知や、社用車の低燃費車への計画的切替えを今後も着実に実施し、燃料消費率の向上に取り組んでいきます。
<b>国際貢献</b> ● グローバルな環境問題解決のためには、国際貢献への取組みが重要。地理的に近いアジアを中心に、九州電力の技術を活用した環境貢献を期待している。	● クリーン開発と気候に関するアジア太平洋パートナーシップ (APP) を通じた当社の火力発電に関する技術・ノウハウの提供など、今後とも、海外での非化石化へのアプローチを積極的に進めていきます。
<b>原子力関連情報 (プルサーマル)</b> ● 玄海原子力プルサーマルが開始されたが、地震やMOX燃料の輸送ルートなど、一般の方たちは安全性について特に心配しているため、これらについては、引き続き、可能な限りの親切・丁寧な説明を心掛けてほしい。	● プルサーマル開始に伴う燃料の健全性の監視強化状況や耐震安全性評価結果について、ホームページや環境アクションレポート等を通じて、今後とも、適切かつ親切・丁寧な説明に努めていきます。
<b>社会との協調</b> ● 「九州ふるさとの森づくり」終了後も、植樹活動は継続してほしい。	● 50周年事業としての「九州ふるさとの森づくり」は、10年間での活動を評価・総括する観点から、2010年度で一旦区切りをつけることとし、植樹活動自体については、地域共生活動の一環として継続していく方向で今後検討を進めていきます。

## 2 環境アクションレポートについて

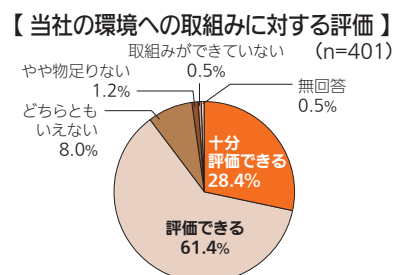
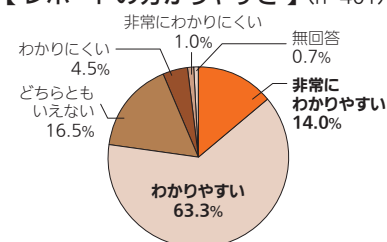
ご意見の概要	ご意見の反映状況
<b>火力発電についての記載</b> ●安定供給上、火力発電は必要不可欠。海外と比べた場合の効率の良さなど、もう少し説明を追加しても良いのではないかと。	●当社の火力総合熱効率の高さを広くPRするため、今回新たに作成する一般のお客さま向けの小冊子に、火力発電効率の国際比較グラフを掲載します。
<b>エコキュートの経済性</b> ●エコキュートの経済性をもう少しPRしても良いのではないかと。	●今回新たに作成する一般のお客さま向けの小冊子の中で、環境性・快適性・経済性の総合的な観点からのPRを行います。
<b>離島マイクログリッドシステム</b> ●マイクログリッドシステムは、九州の地域特性を活かした取組みであり、社会的関心も高いことから、メリット・デメリット・経済性など、もう少し丁寧に記載し、積極的にPRしてはどうか。	●九州本土のスマートグリッド検討との関連について記載するとともに、試験内容の概念図を追加しました。今後とも、実証試験による評価結果等について、環境アクションレポート等を通じて、適切かつ丁寧な説明に努めていきます。 [P24]
<b>生物多様性</b> ●「生物多様性」は、自然保護のことだけではない。木質バイオマスの活用など、事業活動そのものが生物多様性につながっていることを書いても良い。	●生物多様性は事業活動全般にわたることであるため、一部表現の見直しを行いました。 [P35～36]
<b>原子力関連情報</b> ●一般の人にとって関心が高い放射性廃棄物の管理・処理の記述等については、今後も引き続き丁寧な説明を心掛けてほしい。	●ホームページや環境アクションレポート、講演会など、あらゆるツール・機会を活用し、お客さまのニーズを踏まえながら、今後とも丁寧な説明に努めていきます。
<b>環境アクションレポート全般</b> ●環境アクションレポートは、全体的には立派になったとの印象。 ●「私の環境アクション」は、現場の生の声で説得力がある。 ●川内原子力発電所での人身事故など、マイナス情報も記載されていることを評価したい。	●今後も引き続き、積極的な情報公開に努めていくとともに、読みやすさ・分かりやすさに配慮しながら、記載内容の充実にも努めていきます。

## レポートの読者アンケート

2009年6月に発行した「2009 九州電力環境アクションレポート」のアンケートを通じて、九州電力の環境活動のあり方などについて、401名の皆さまから貴重なご意見をいただきました（2010年3月末現在）。ご協力ありがとうございました。

【九州電力の環境への取組みについて、ご関心を持たれた項目と、その理由やご意見】 【レポートの分かりやすさ】 (n=401)

ご回答が多かった項目(上位5項目)	選択数	主な理由・ご意見
1 温室効果ガスの排出抑制	160	●様々な方法で温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいることが、具体的に紹介されていてわかりやすい。 ●新エネルギーはこれから期待されるエネルギー源だと思っているので開発を推進してほしい。
2 原子力関連情報	135	●原子力発電所からの放射線量がこんなに低いとは知らなかった。 ●プルサーマルについて、言葉は聞いたことがあってもきちんと意味を把握していなかったので勉強になった。
3 大気汚染・水質汚濁・騒音などの防止	101	●身近な問題なので、様々な対策がされていることを知り安心した。
4 オゾン層の保護	98	●オゾン層の保護は長年言われてきたことなので、どういう対策をしているのか気になった。
5 2009環境アクションレポートハイライト	92	●九州各地での環境への取組みを見ることが出来るので、自分の身近な場所では何が行われているのか、とても興味を持った。



(注) 複数の項目を選択可能(最も関心あり1つ、その他関心あり4つ) ため、最も関心ありの選択数に1.5ポイント、その他関心ありの選択数に1ポイントを乗じて順位付け。

### アンケート結果と対応

環境活動全般に関するものから、レポートの編集・体裁に至るまで、ステークホルダーの方々から貴重なご意見を数多くいただきました。いただいた主なご意見について、本レポートの関連ページ(右上部)にてご紹介するとともに、記載内容への反映・充実を図ることで、環境コミュニケーションツールとしての更なる充実に努めています。

また、環境アクションレポートについて、「要約版が欲しい」とのご意見が多く寄せられました。このため、今年度は、「2010九州電力環境アクションレポート」の要約版として「小冊子」を新たに作成しています。

今後とも、これらのツールを積極的に活用し、より多くの方々との環境コミュニケーションを展開していきたいと考えています。

- 熱効率
- エコキュート
- マイクログリッドシステム
- スマートグリッド
- 放射性廃棄物
- 温室効果ガス
- 新エネルギー(新エネ)
- 放射線
- 大気汚染
- 水質汚濁
- オゾン層
- ステークホルダー
- 環境コミュニケーション

用語集の解説をご覧ください